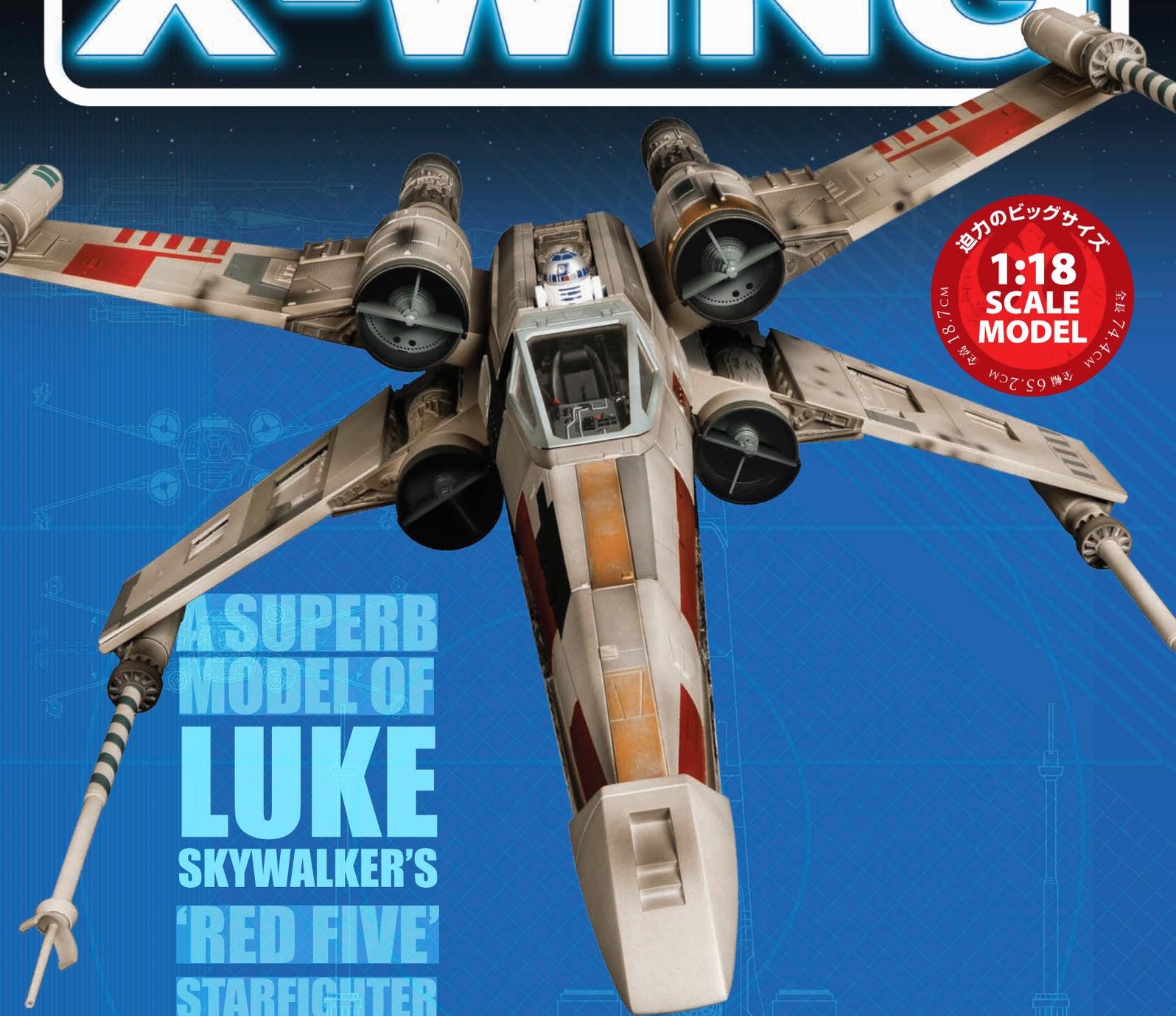


STAR WARS™

9

BUILD YOUR OWN

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
全高 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第9回配本 組立内容

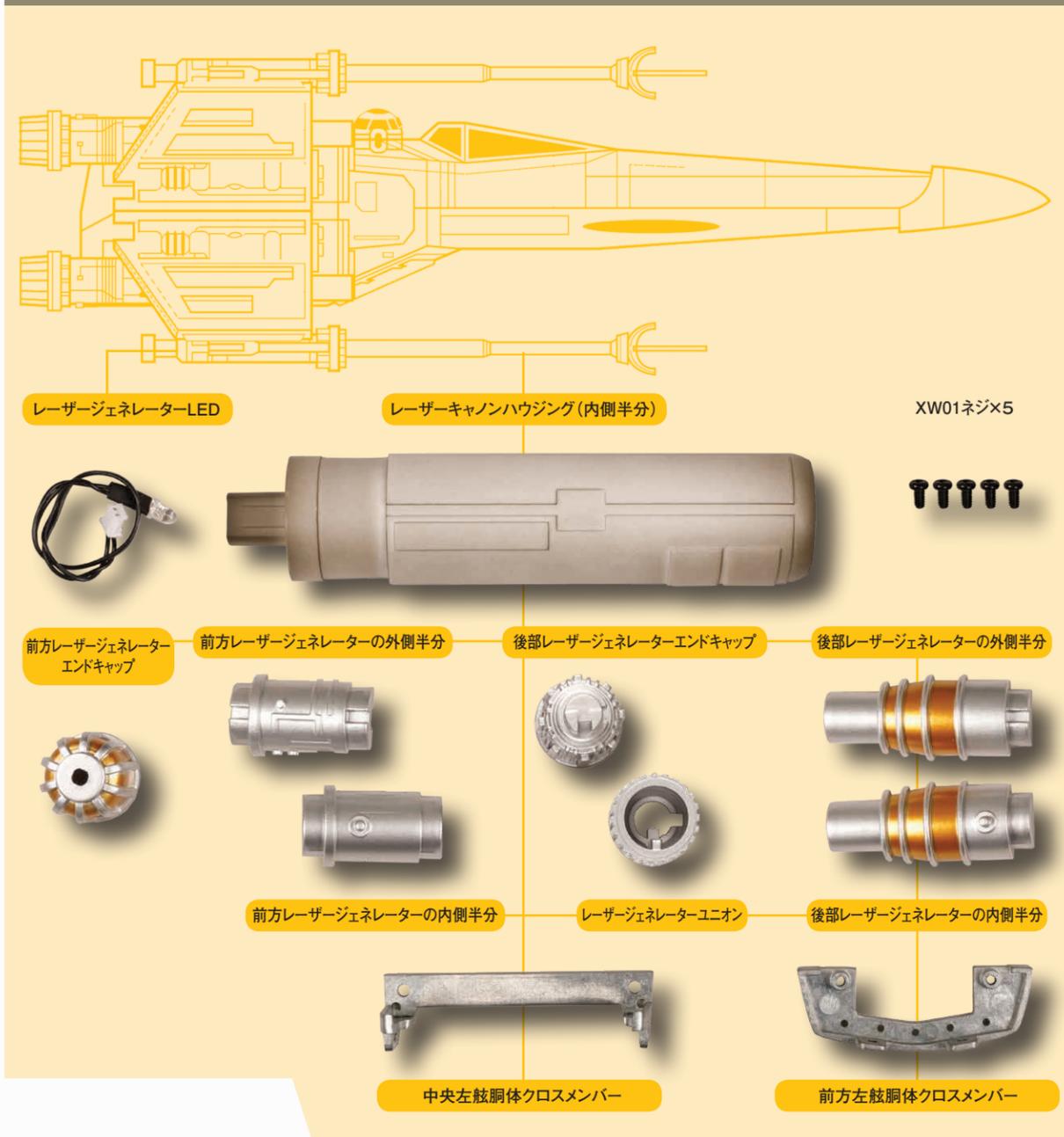
STAGE 33	右舷下翼レーザーキャノン②	188
STAGE 34	右舷下翼レーザーキャノン③	194
STAGE 35	コックピットとフレームパーツ	198
STAGE 36	コックピットとフレームパーツ②	206

右舷下翼レーザーキャノン②

このステージの組み立ては、内部LED照明効果を備えたレーザージェネレーター作成など、前のステージで組み立て始めたレーザーキャノンの続きである。また、ステージ32で取り付けした前方胴体フレームを結合するために使用する2つのフレームがある。

ステージ33の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのか見てみよう。



レーザーキャノンの組み立て

提供されるすべての部品はこのステージで使用する。レーザージェネレーターの部品を組み立てた後、ステージ32で組み立てたハウジングを使用して、キャノンを作成させる。



レーザージェネレーターを構成する8つの部品を用意する。



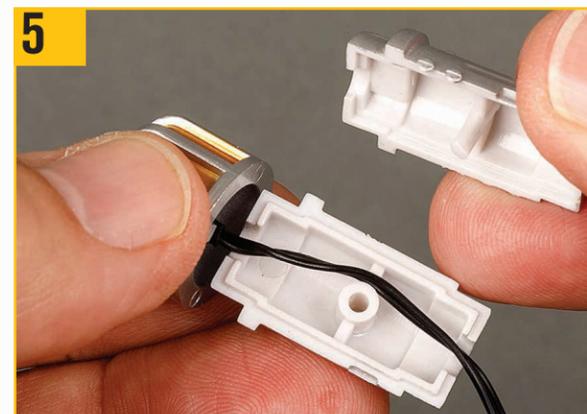
前方レーザージェネレーターエンドキャップの端にある小さな穴にLEDを取り付ける。



LEDをそっと穴に押し込み、LEDの肩が穴の縁にくるようにする。



写真のように先端はエンドキャップから突き出る。



前方レーザージェネレーターの両端の溝にLEDワイヤーを置いてからピンと穴を合わせて押し込む。ピンがワイヤーを挟まないようにする。



前方レーザージェネレーターを組み立てたら、ワイヤーをジェネレーター本体に引き戻し、エンドキャップを押して、キャップ内の凸部が前方レーザージェネレーターの凹部に収まるようにする。



ジェネレーターユニオンにワイヤーを通し、ジェネレーターユニオンの凸部を前方ジェネレーターの凹部に合わせる。



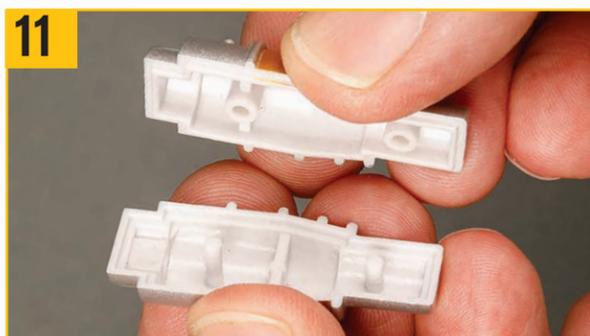
写真のようにユニオンをジェネレーター本体に押し込む。



ワイヤーを写真の矢印の溝に通し、ユニオンの凸部に後部レーザージェネレーターエンドキャップの凹部を合わせる。



エンドキャップをユニオンに押し込み、ワイヤーをユニオンの溝から出す。



後部レーザージェネレーターの2つのパーツを用意し、内部ピンを対応する穴に取り付ける。



2つのパーツをしっかりと押し込む。

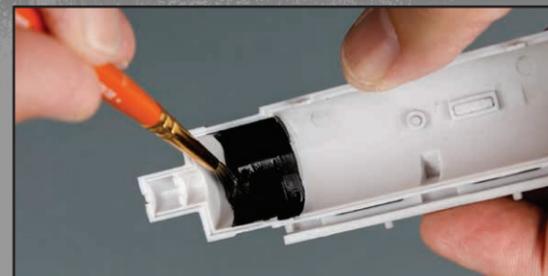


後部レーザージェネレーターの端の凹部をエンドキャップの凸部に合わせ、押し込む。

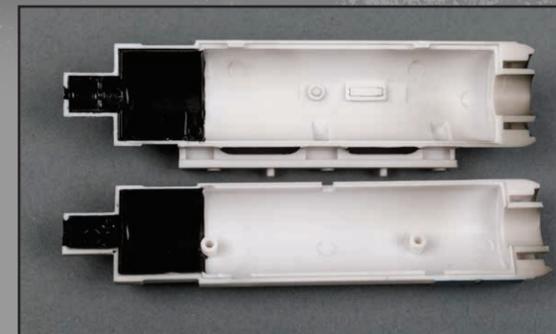


これでジェネレーターが完成する。ジェネレーターはハウジングに設置できる。

Expert Tip



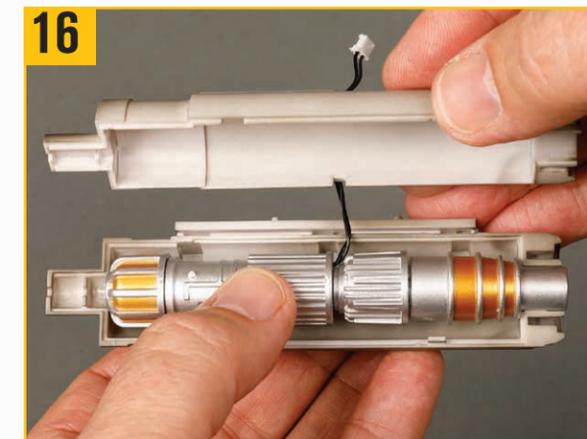
1、レーザーキャノンの照明効果は、レーザージェネレーターに内蔵されたLEDから発生するため、キャノンが「発光」すると、ジェネレーターハウジングからわずかな光が出ることもある。この効果を隠したい場合は、マットブラックのモデリングペイントをハウジングの両方の半分に塗る。



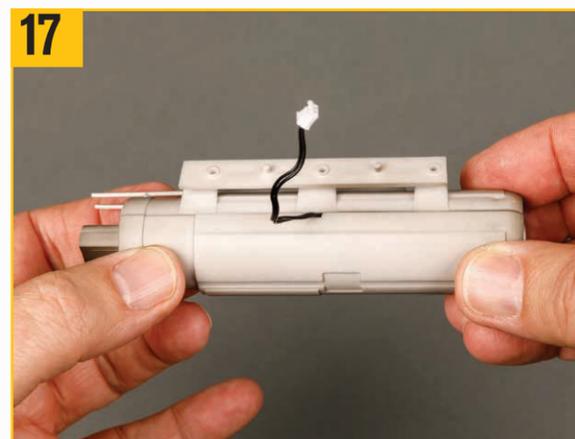
2、示されている領域全体をペイントし、次の手順で組み立てる前に、乾かしておく。



ステージ32で組み立てたキャノンハウジングの半分にレーザージェネレーターを合わせ、2つのピンをハウジングのソケットに取り付ける。



今回提供されたハウジングの半部分を、片側の中央の切り欠きに注意して合わせる。



ジェネレーターハウジングの残りの半分を取り付ける。LEDワイヤーが写真のようにハウジングの側面の切り欠きから出ていることを確認する。



ステージ32で提供のリアエンドキャップをハウジングの端に合わせる。



19 エンドキャップをしっかりと所定の位置に押し込む。これにより、ハウジングの2つのパーツが固定される。



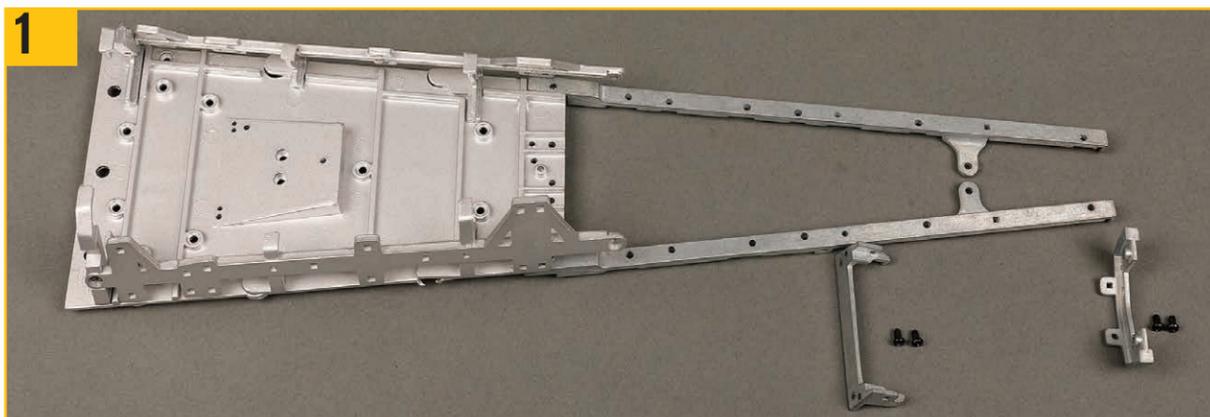
20 これでこのステージの組み立ては完了だ。



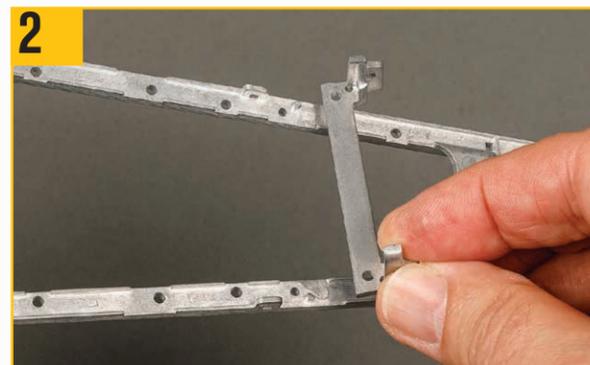
ハウジングとキャノンの他のパーツをステージ34まで注意して保管する。ステージ34では、他のパーツを使用して組み立てを完了する

フレームの拡張

ステージ32で拡張したコックピットベースフレームワークを使用して、このステージで提供される2つのクロスメンバーを追加する。



1 写真のパーツを4つのXW01ネジと一緒に並べる。



2 中央のクロスメンバーは、写真の位置の2つの小さな位置決めピンに適合する。



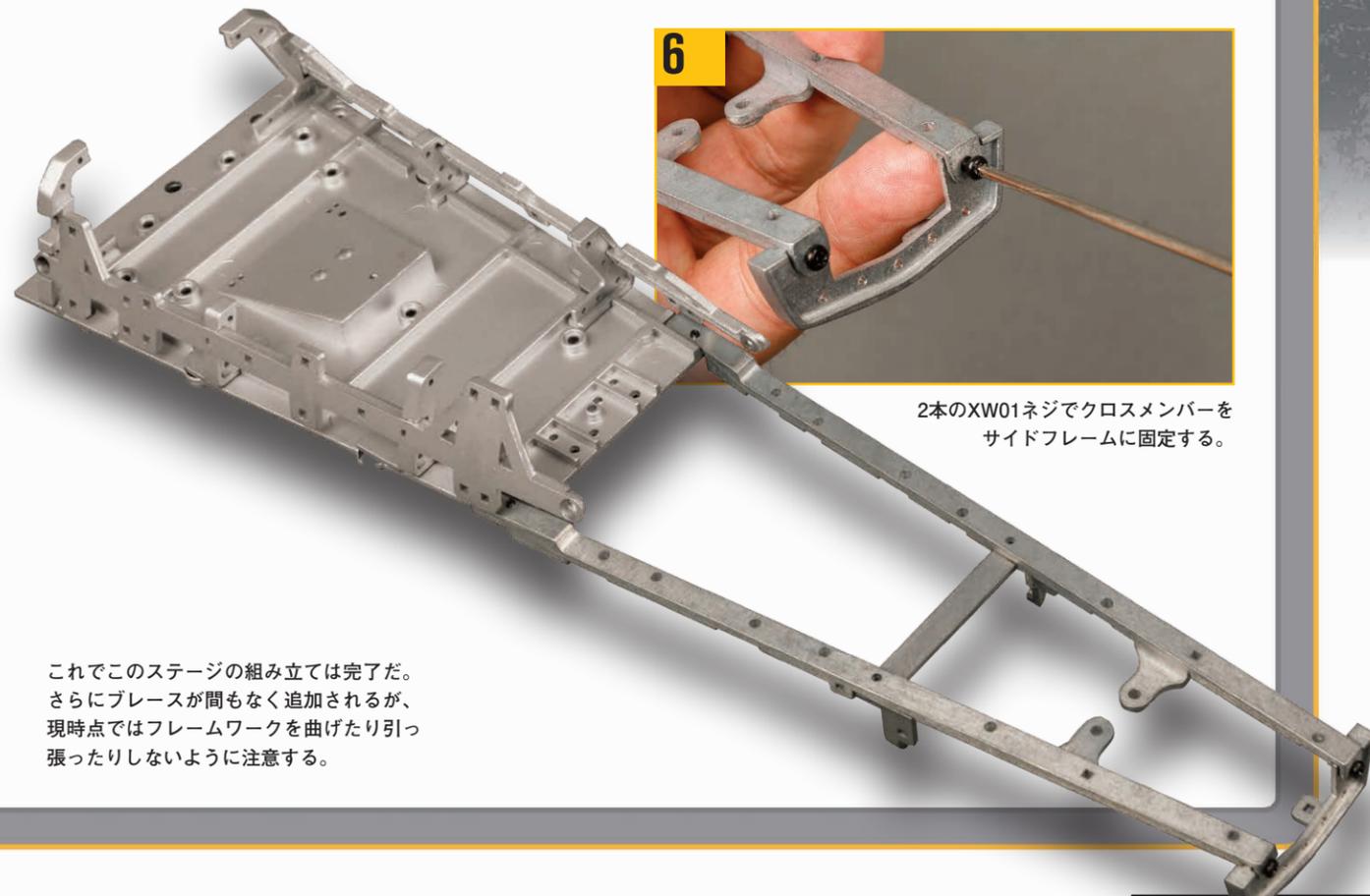
3 2本のXW01ネジでクロスメンバーを固定する。



4 前方クロスメンバーは写真の位置に取り付ける。



5 2つの丸い突起がサイドフレームの上向き端の内側に合うようにする。



6 2本のXW01ネジでクロスメンバーをサイドフレームに固定する。

これでこのステージの組み立ては完了だ。さらにブレースが間もなく追加されるが、現時点ではフレームワークを曲げたり引っ張ったりしないように注意する。

右舷下翼レーザーキャノン③

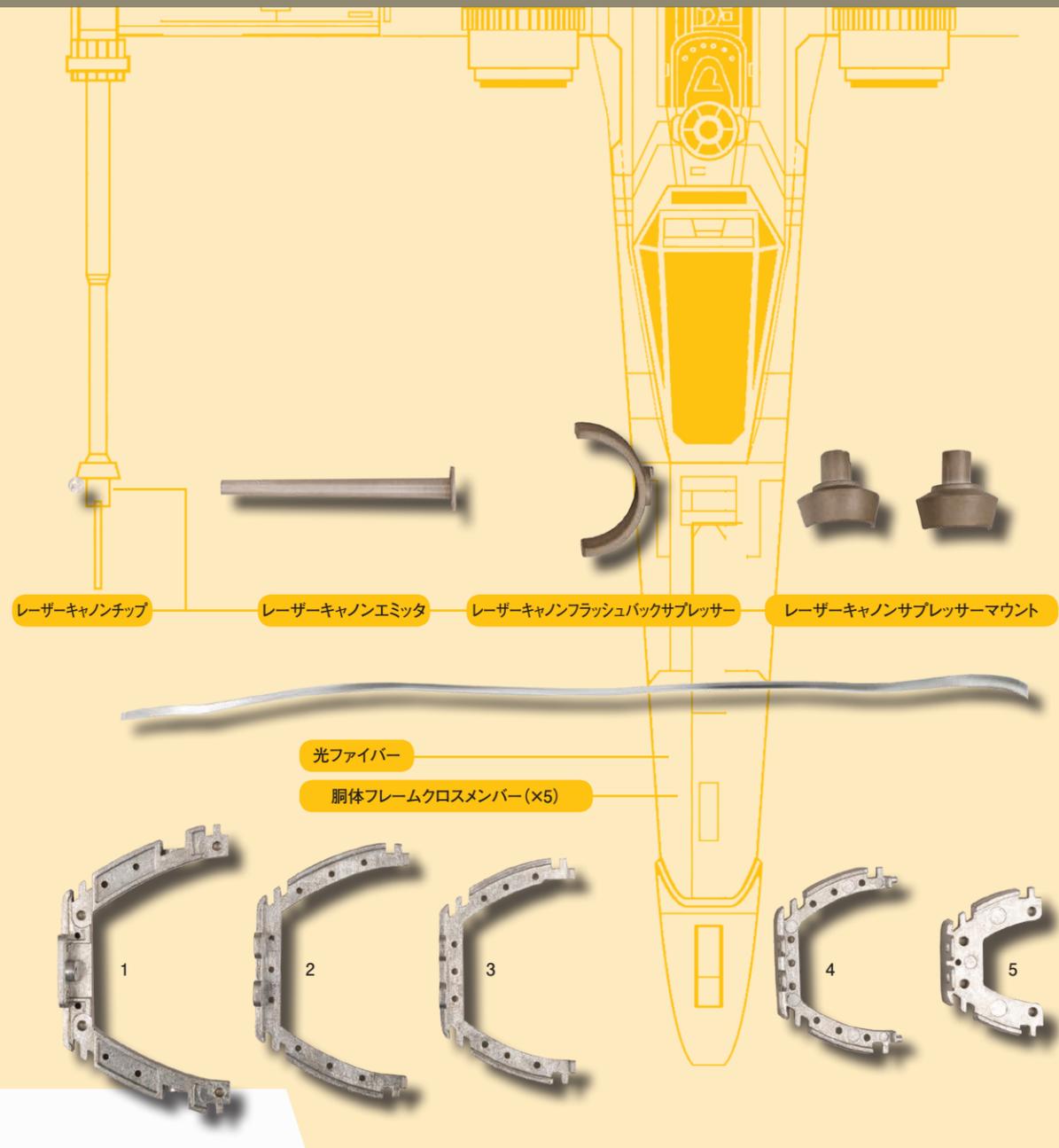
このステージでは、レーザーキャノンの先端を仕上げ光ファイバーを取り付けることにより、ステージ 32 で開始したレーザーキャノンを完成させる。また、次のステージでコックピットの前方の機体フレームに取り付けるクロスメンバーが 5 つある。



レッドファイブの左舷上翼レーザーキャノンは、チューブに特徴的なスパイラルがある。これは、右舷下翼のレーザーキャノンの装飾と一致している。

ステージ34の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのを見てみよう。



レーザーキャノンの組み立て

提供されるすべての部品はこのステージで使用する。レーザージェネレーターの部品を組み立てた後、ステージ33で組み立てた部品を使用して、キャノンを完成させる。



1 レーザーキャノンエミッタの端にある長方形のフランジにサブレッサーマウントの半分を取り付ける。



2 サブレッサーマウントの2つの半分のピンとソケットをあわせる。



3 レーザーキャノンエミッタの端にあるフランジを囲んで、サブレッサーマウントと一緒に押し込む。



4 サブレッサーの穴にエミッタを通し、サブレッサーマウントの凹部にサブレッサーの凸部を合わせて押し込む。



5 レーザーキャノンチップの細い方の端をエミッタの端に押し込む。



6 光ファイバーの先端をレーザージェネレーターの端にある穴に押し込む。



7 光ファイバーをステージ32で提供のフロントエンドキャップの穴に通し、D字穴がジェネレーターのD字に対応するように合わせる。



8 レーザージェネレーターの2つのサイドチューブがフロントエンドキャップの2つの穴に合うように押し込む。



9 レーザーキャノンチューブに光ファイバーを通しながらレーザージェネレーターの端に押し込む。



10 光ファイバーをレーザーキャノンエミッタに滑り込ませ、砲身に押し込む。



11 これで組み立ては完了だ。

完成したレーザーキャノンを船体に取り付ける準備をしておきます。レーザーキャノンをSフォイルの先端に取り付けるのに正確に位置合わせをする必要があるため、パーツを接着しようとしてください。

CANNON CONSTRUCTION

テスト

前回と同じように、レーザーキャノンをバッテリーボックスに差し込んでテストし、照明効果が適切に機能していることを確認する。テストの後それを外す。





コックピットキャノピー 油圧システム

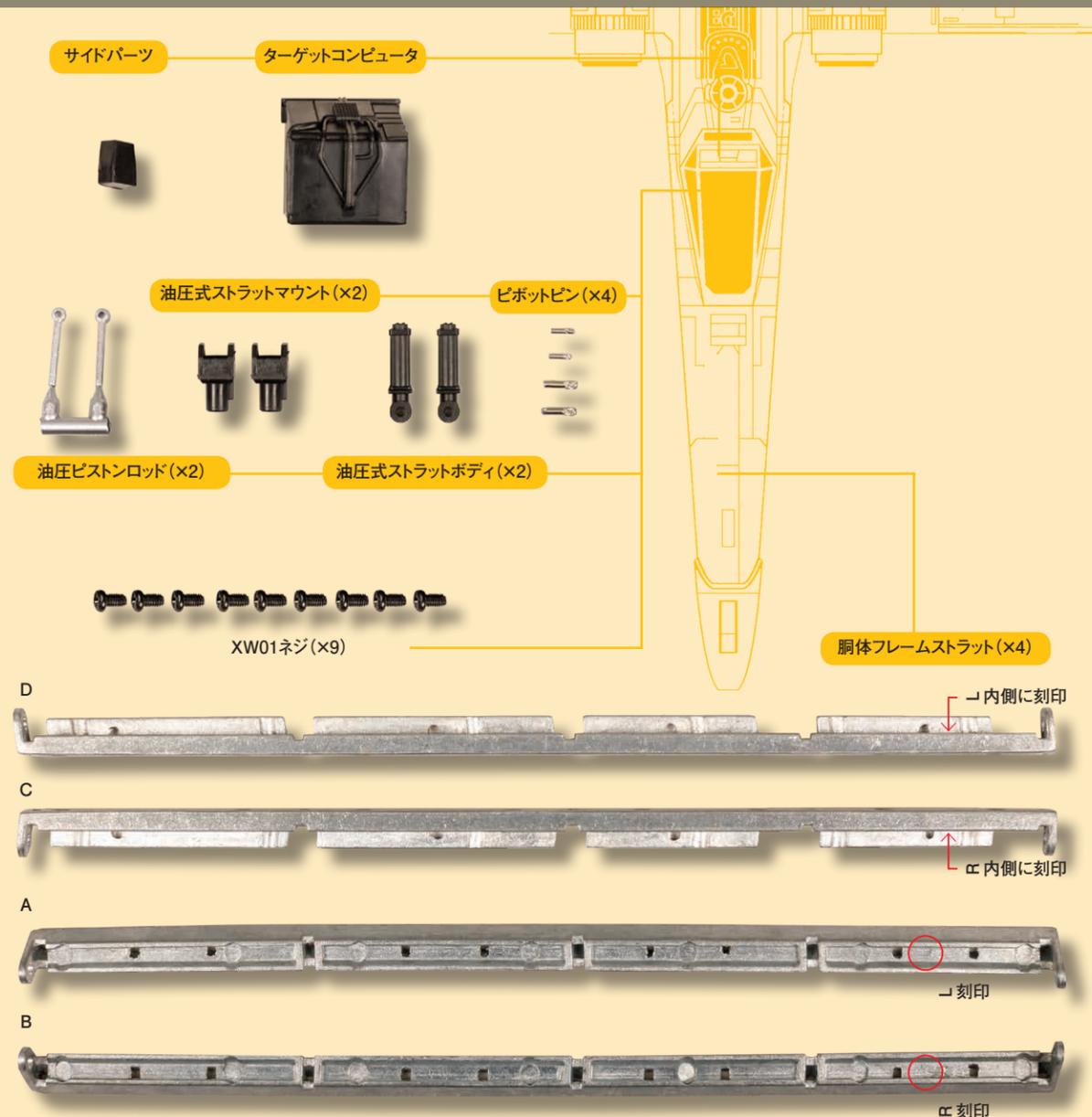
Xウィングスターファイターの角度付きコックピットキャノピーは、後部が蝶番で固定されており、動きの速度を制御する1組の油圧式支柱で上下する。

コックピットとフレームパーツ

このステージでは、キャノピーの背面にフィットする両方の油圧式ストラットのパーツが含まれています。また、パイロットシートのあるコックピット構造用の2つのパーツと、前部胴体フレームワークを組み立てるための4つのフレームストラット（縦通材）がある。

ステージ35の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

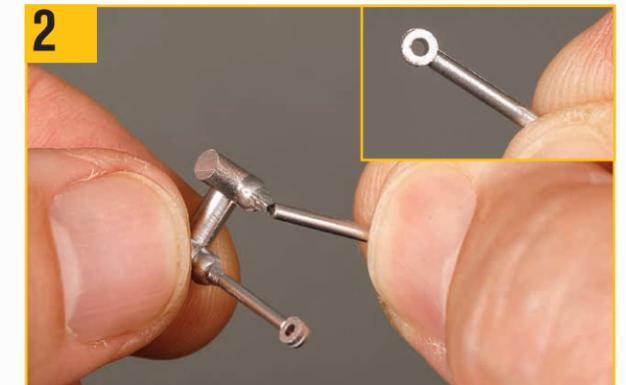


ストラットの組み立て

油圧式ストラットは、旋回および伸長させることができる。ピボットピンには2つのサイズがあることに注意する。どちらも滑らかな端部とギザギザの端部があり、それらを混同しないように注意する。



ステージ18のコックピットキャノピーパーツを、今回提供されたすべての油圧式ストラットパーツと一緒に用意する。



油圧ピストンロッドをランナーから慎重に切り取り、片方の端（挿入図）に穴があるプレーンロッドを残す。



写真のようにキャノピーのヒンジの1つのフランジの間に最初のロッドの穴が合うようにする。



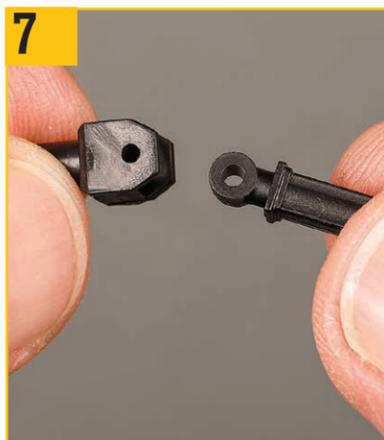
小さい方のピボットピンの1つを取り、滑らかな端部の方をヒンジとロッドの穴を通して挿入する。



表面が滑らかなプライヤーを慎重に使用してピンを完全に押し込み、ピストンロッドを固定する。



手順3～5を繰り返して、キャノピーの反対側に2つ目のピストンロッドを取り付ける。



7
ストラットボディの1つとマウントの1つを取り、写真のように合わせる。



8
大きい方のピボットピンを1つを用意し、滑らかな端部の方をパーツの穴に挿入する。



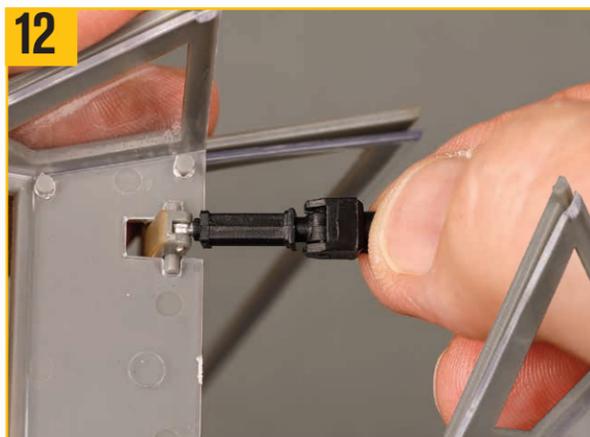
9
表面が滑らかなプライヤーを慎重に使用してピンを完全に押し込み、ストラットボディを固定する。



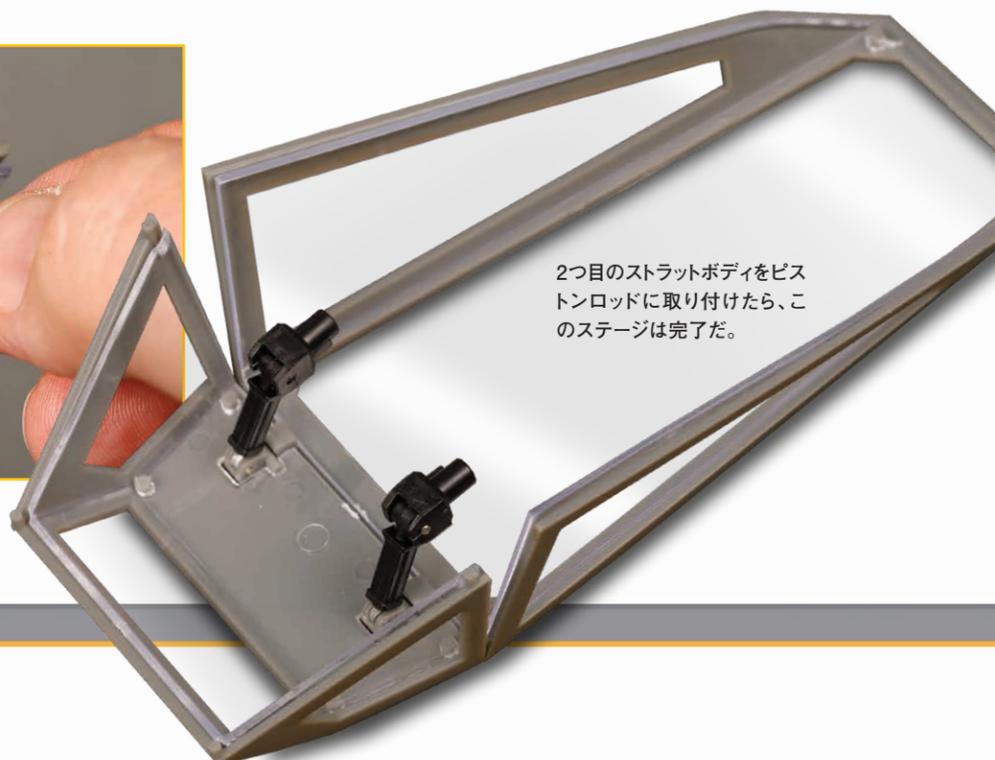
10
完成したパーツは写真のようになる。ヒンジで固定されていることを確認する。手順7~10を繰り返して、2番目のストラットを組み立てる。



11
ストラットボディの穴を確認する。



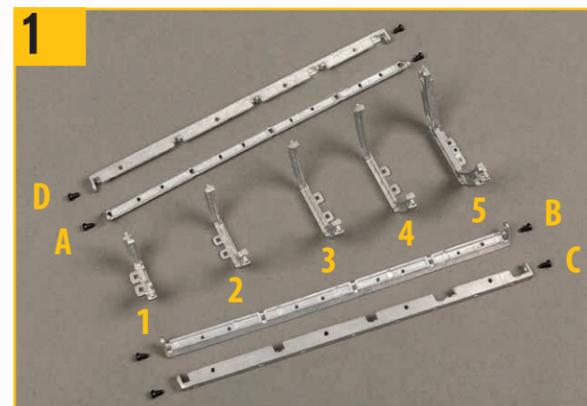
12
写真のようにピストンロッドに取り付ける。



2つ目のストラットボディをピストンロッドに取り付けたら、このステージは完了だ。

フレームの組み立て

4つのフレームストラットは、ステージ34で提供された5つのクロスメンバーと組み合わされる。すべてのパーツが正しい位置に組み合わせるよう注意する。



1
写真のようにすべてのフレームパーツを並べる。クロスメンバーはサイズが段階的で、ストラットには「L」と「R」のマークが付いている。



2
最小のクロスメンバー(1)と「L」のマークが付いたストラット(A)を用意し、挿入写真のように合わせる。



3
写真のようにXW01ネジで固定する。



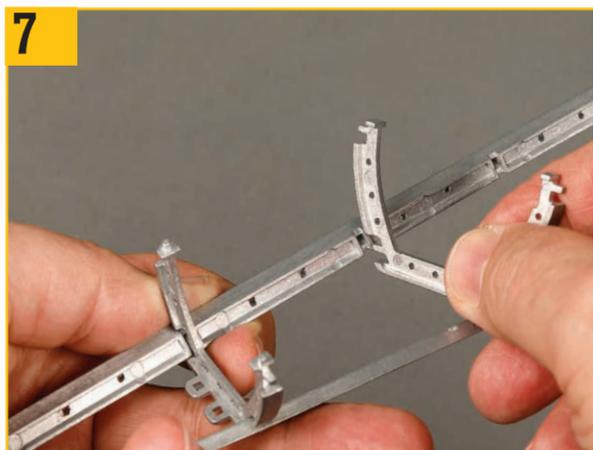
4
「R」のマークが付いた2番目のストラット(B)をクロスメンバーの反対側に取り付ける。



5
固定穴を揃え、パーツをXW01ネジで固定する。



6
次に大きいクロスメンバー(2)を用意する。クロスメンバーは、フレームストラットのスロットに固定される。



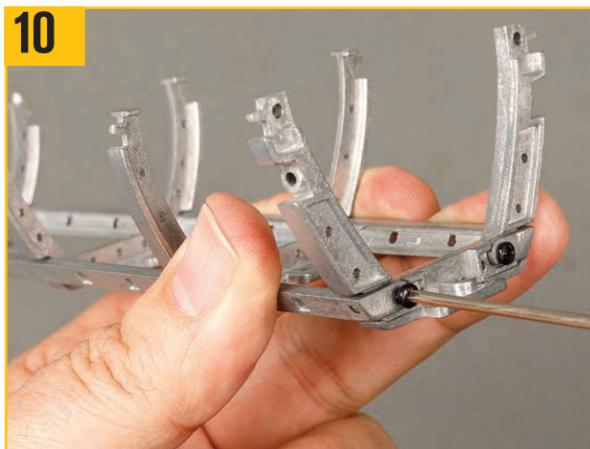
次に大きいクロスメンバー(3)を用意し、サイドストラットに差し込む。



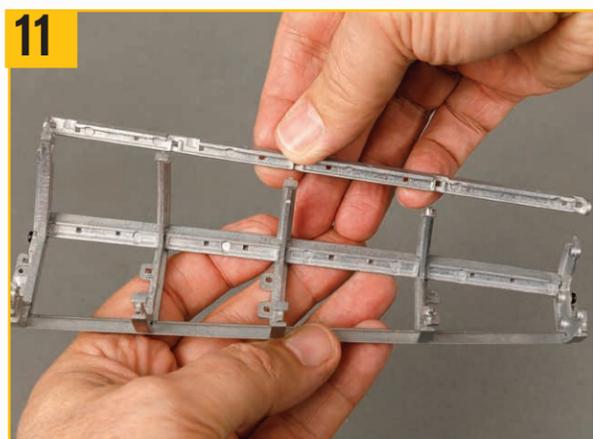
4番目のクロスメンバー(4)で7を繰り返す。



最後に、最大のクロスメンバー(5)をフィットさせる。



2つのXW01ネジを使用して、パーツ全体を一緒に固定する。



「R」のマークが付いたストラット(C)を用意し、写真のようにパーツに合わせる。



写真のように、すべてのクロスメンバーをストラットのスロットに取り付ける。



最後のフレームストラット(D)を、本体の反対側に同様に取り付け。



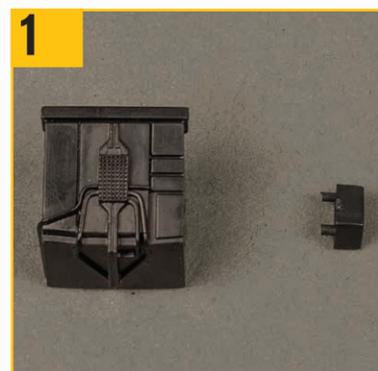
XW01ネジでストラットCとDの両端を固定する。



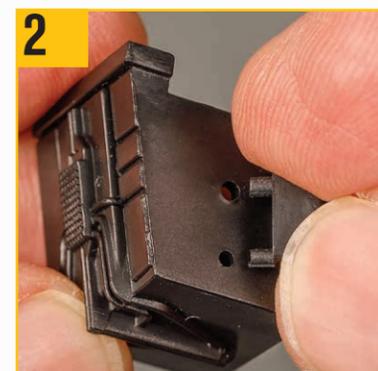
最終的な完成は写真のようになる。クロスメンバーの穴に開いた凸部は一部が前向きで、一部が後ろ向きであることに注意する。

ターゲットコンピュータ

コックピットの後ろにフィットするメインユニットの側面にディテールパーツを取り付ける。



ターゲットコンピュータの2つのパーツを用意する。



ディテールパーツも取り付けピンのサイズが異なるので、写真を参考にして押し込む。

完成したユニットは写真のようになる。コックピットに取り付けるまで、注意して保管する。

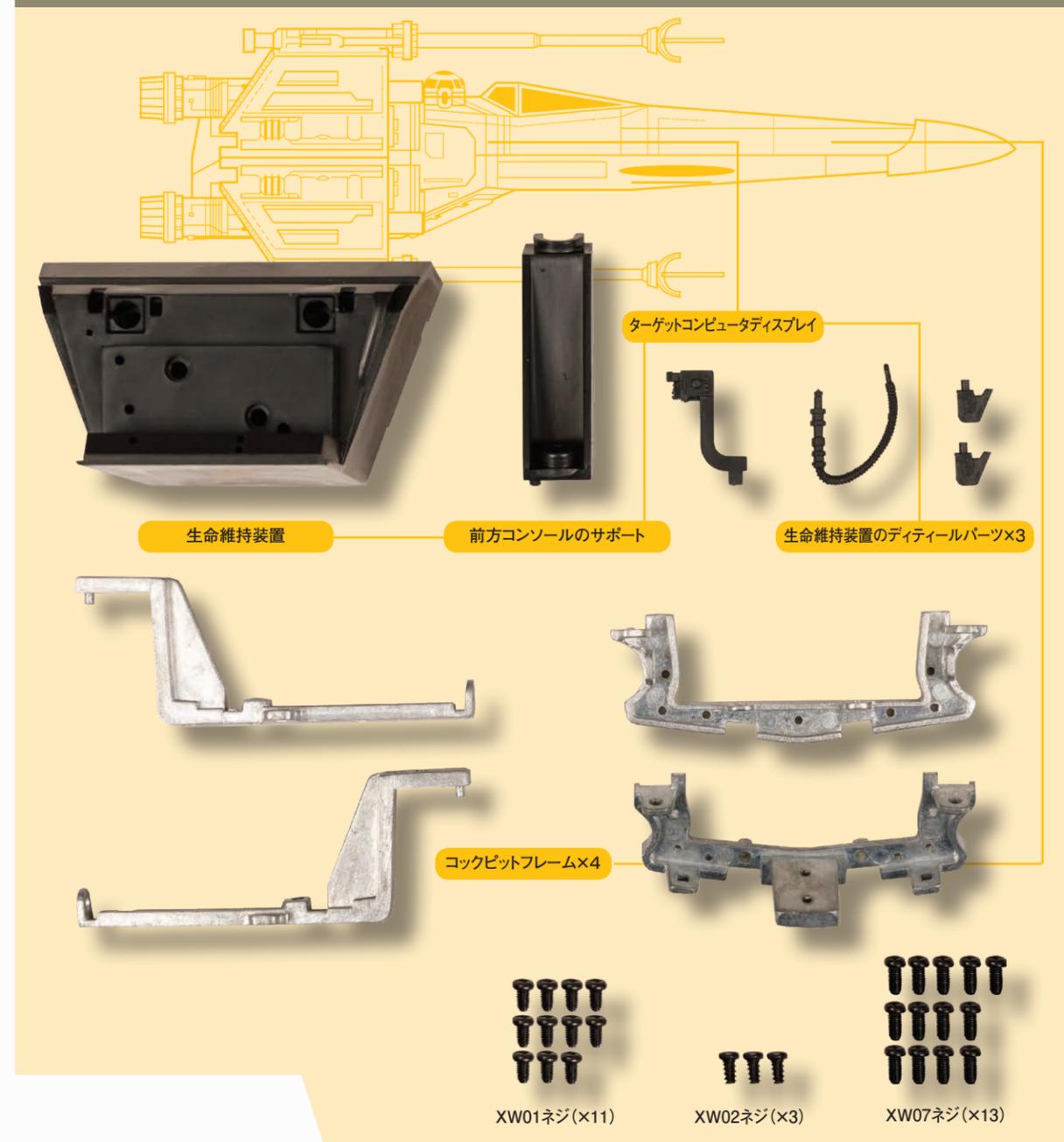


コックピットとフレームパーツ②

このステージでは、パイロットシートの後部とフォワードコントロールコンソールの下のコックピット内に収まるパーツを組み立てる。また、パイロットシートの前に収まる4つのフレームパーツもあり、これまでに組み立てたフレームワークのパーツと合わせて組み立てる。

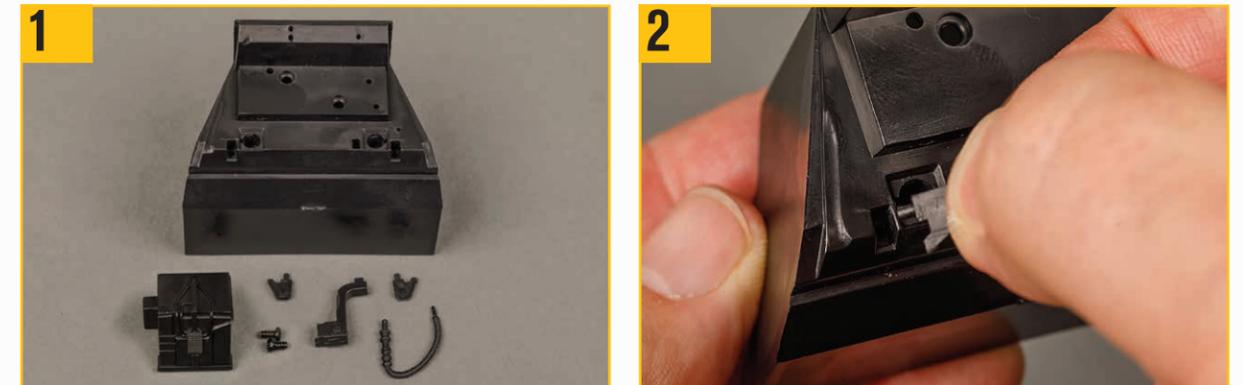
ステージ36の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成しているかを見てみよう。



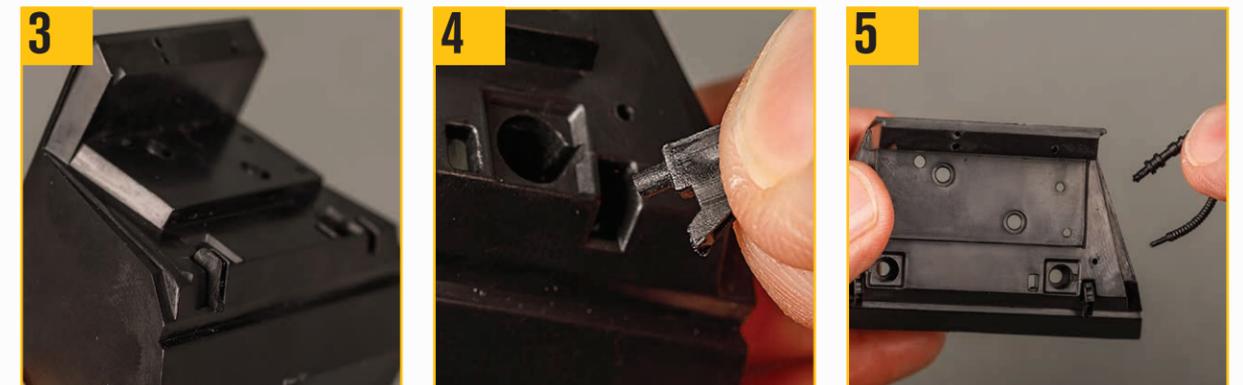
コックピットの組み立て

パイロットシートの後部にある生命維持装置は、前回組み立てたターゲットコンピュータのサブパーツと合わせて組み立てる。



1 ステージ35で組み立てたターゲットコンピュータのパーツと、生命維持システムのパーツを用意する。

2 小さいディテールパーツのピンを、生命維持装置の写真で示したスロットの奥に合わせる。



3 ディテールパーツを生命維持装置のスロットに押し込む。

4 手順2と3を繰り返して、もう一方のディテールパーツを生命維持装置の反対側のスロットに合わせる。

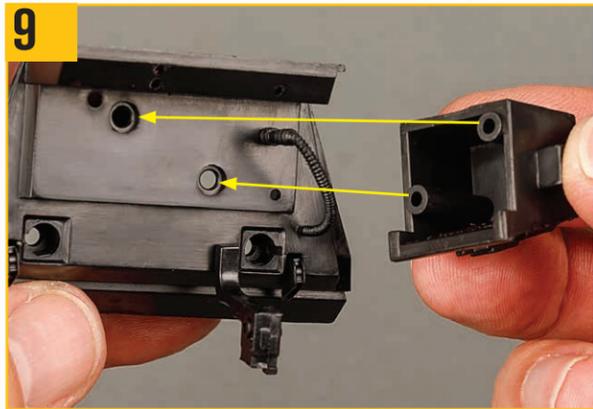
5 U字型のディテールパーツを写真のように生命維持装置に合わせる。



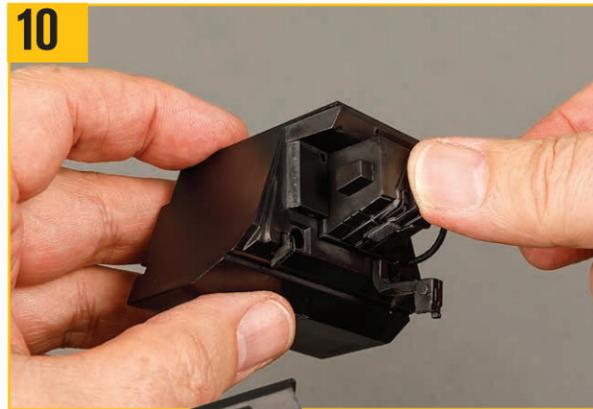
6 両端のピンを生命維持装置の写真に示した穴に押し込む。

7 ターゲットコンピュータディスプレイを生命維持装置の所定の位置に合わせる。

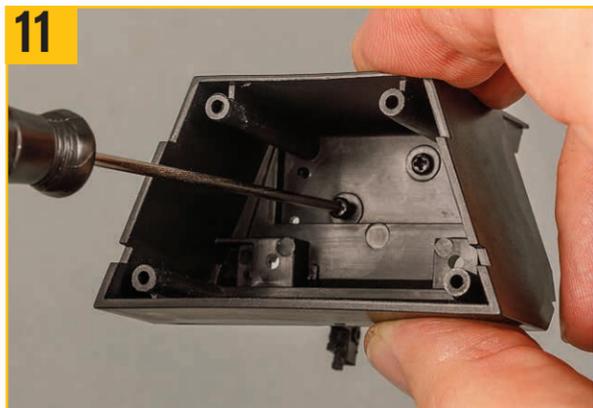
8 端の四角いピンを生命維持装置のスロットに押し込む。



9 ステージ35のターゲットコンピュータを、写真のように生命維持装置の穴の位置に合わせる。



10 ターゲットコンピュータを所定の位置に押し込む。



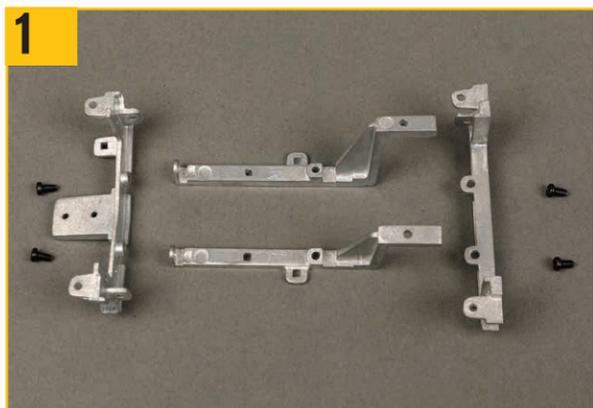
11 パーツを裏返し、2つのXW02ネジで固定する。



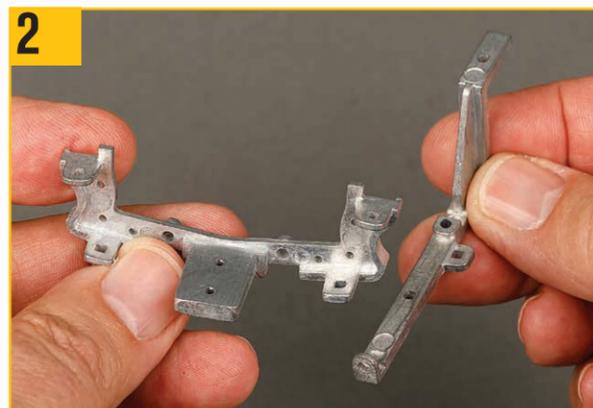
これで、生命維持装置が完成だ。

フレームの取り付け

付属の4つのフレームパーツを使用して、ステージ33および35で組み立てた胴体フレームワークの2つのパーツを連結する。



1 写真のようにすべてのコックピットフレームパーツを並べ、突起がどの方向に向くかを確認する。また、4つのXW01ネジが必要である。



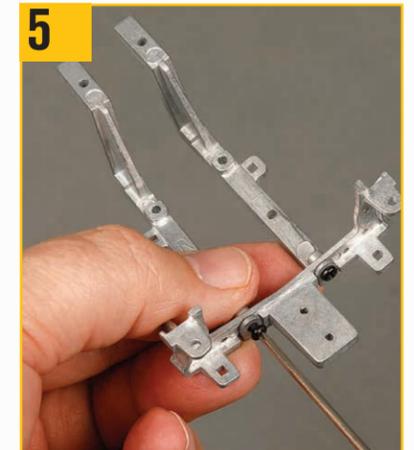
2 写真の2つのフレームパーツを用意する。



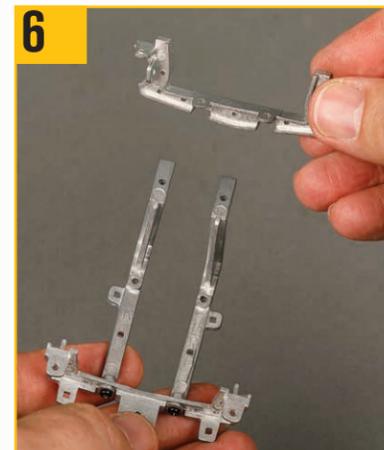
3 写真のように2つのパーツの固定穴を合わせる。



4 XW01ネジを使用してフレームパーツと一緒にネジ留めする。



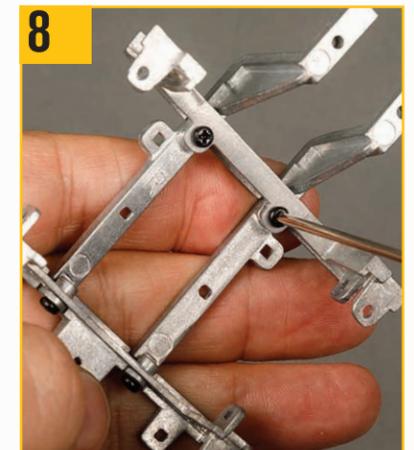
5 手順2~4を繰り返して、反対側のフレームパーツを取り付ける。



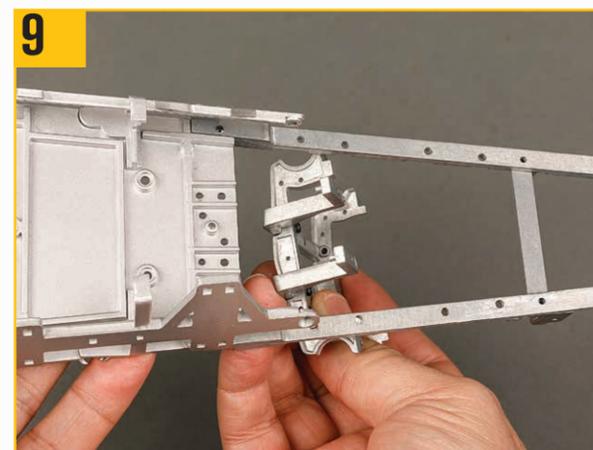
6 4番目のフレームパーツを用意し、写真のように配置する。



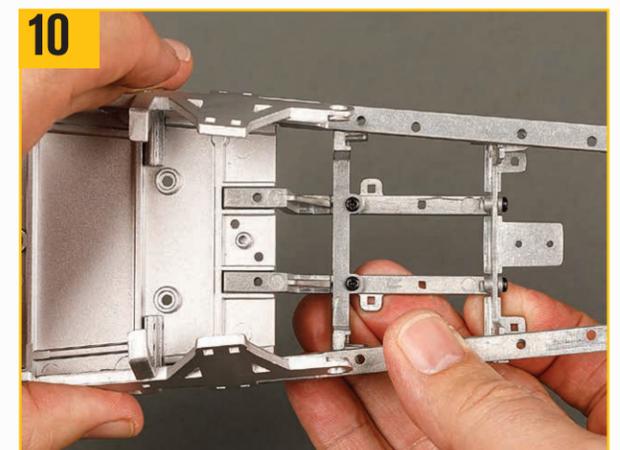
7 写真のように2つの取り付け穴を合わせる。



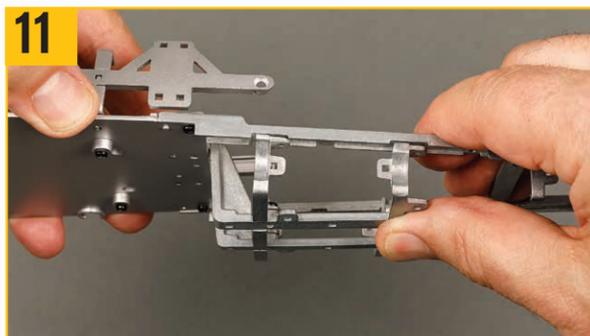
8 さらに2つのXW01ネジを使用して、パーツ全体と一緒に固定する。



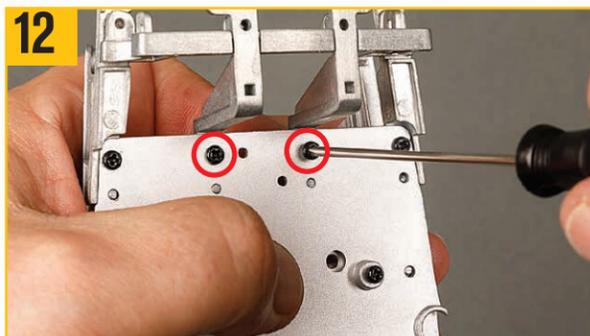
9 ステージ33からフレームワークを用意し、写真のように下から組み立てたパーツを取り付ける。



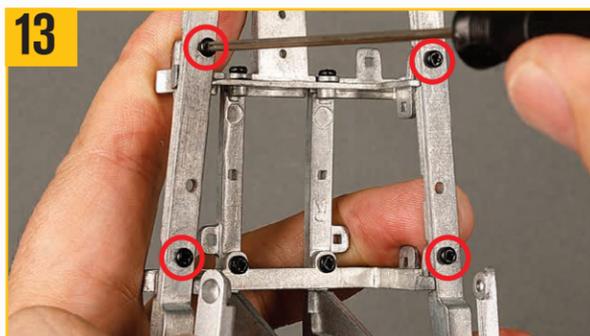
10 フレームワークの2つの突き出たアームをコックピットのフロアの前面にある凹部に合わせる。



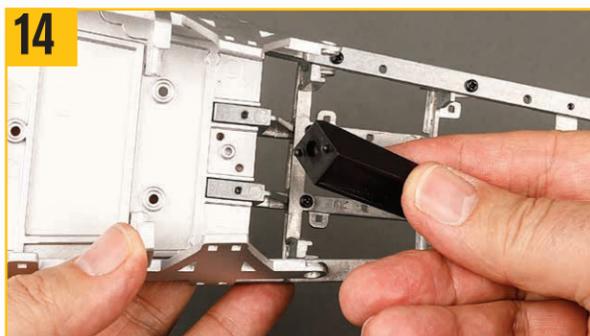
11 コックピットフレームを前のストラットに押し付ける。



12 2つのXW01ネジでコックピットフレームをコックピットのフロアに固定する。



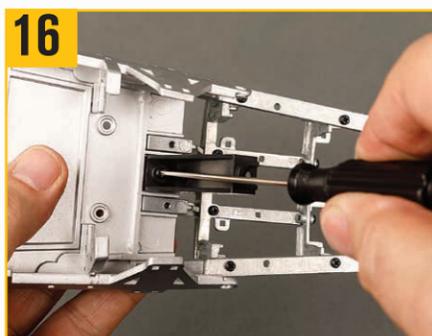
13 4本のXW07ネジでコックピットフレームを前部ストラットに結合する。



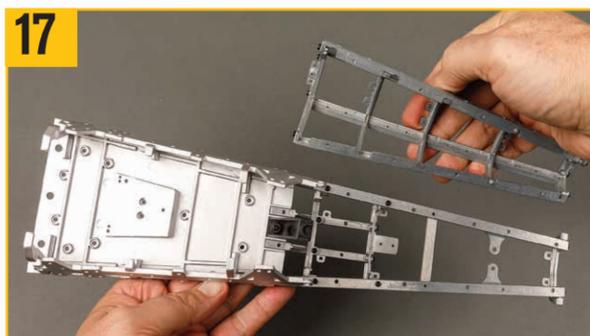
14 コンソールサポートを用意し、太い方の端にある2つの位置決めピンをコックピットのフロアの穴に合わせる。



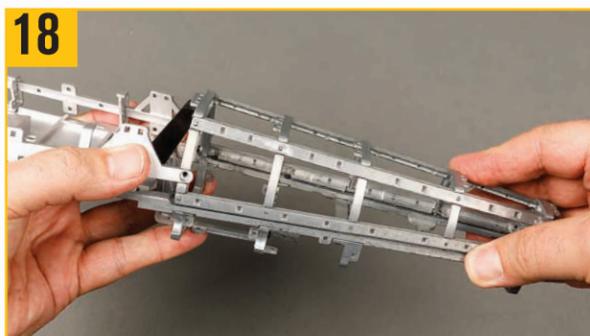
15 写真のように押し込む。



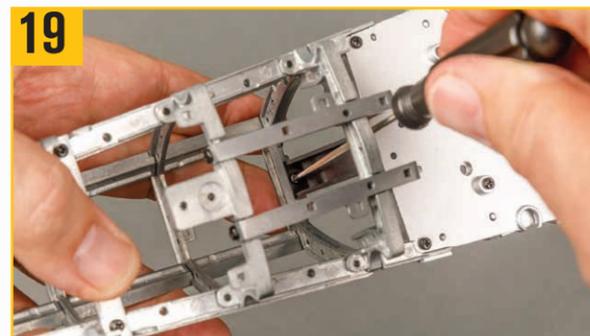
16 XW01ネジを使用して、前方コンソールサポートを所定の位置に固定する。



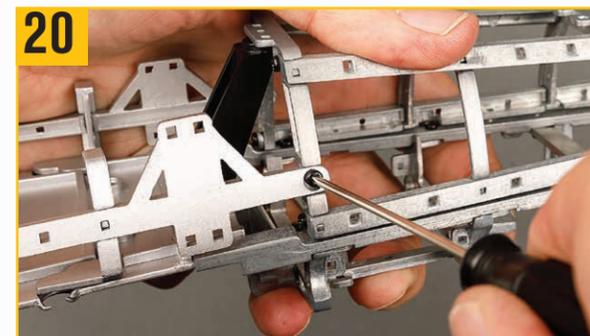
17 次に、ステージ35で組み立てたフレームワークを用意し、それを前部ストラットに合わせる。



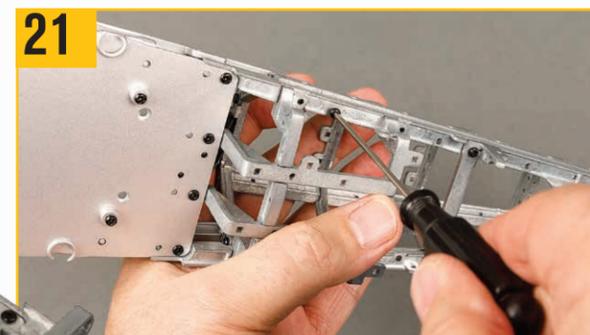
18 写真のようにフレームワークを合わせるができる。



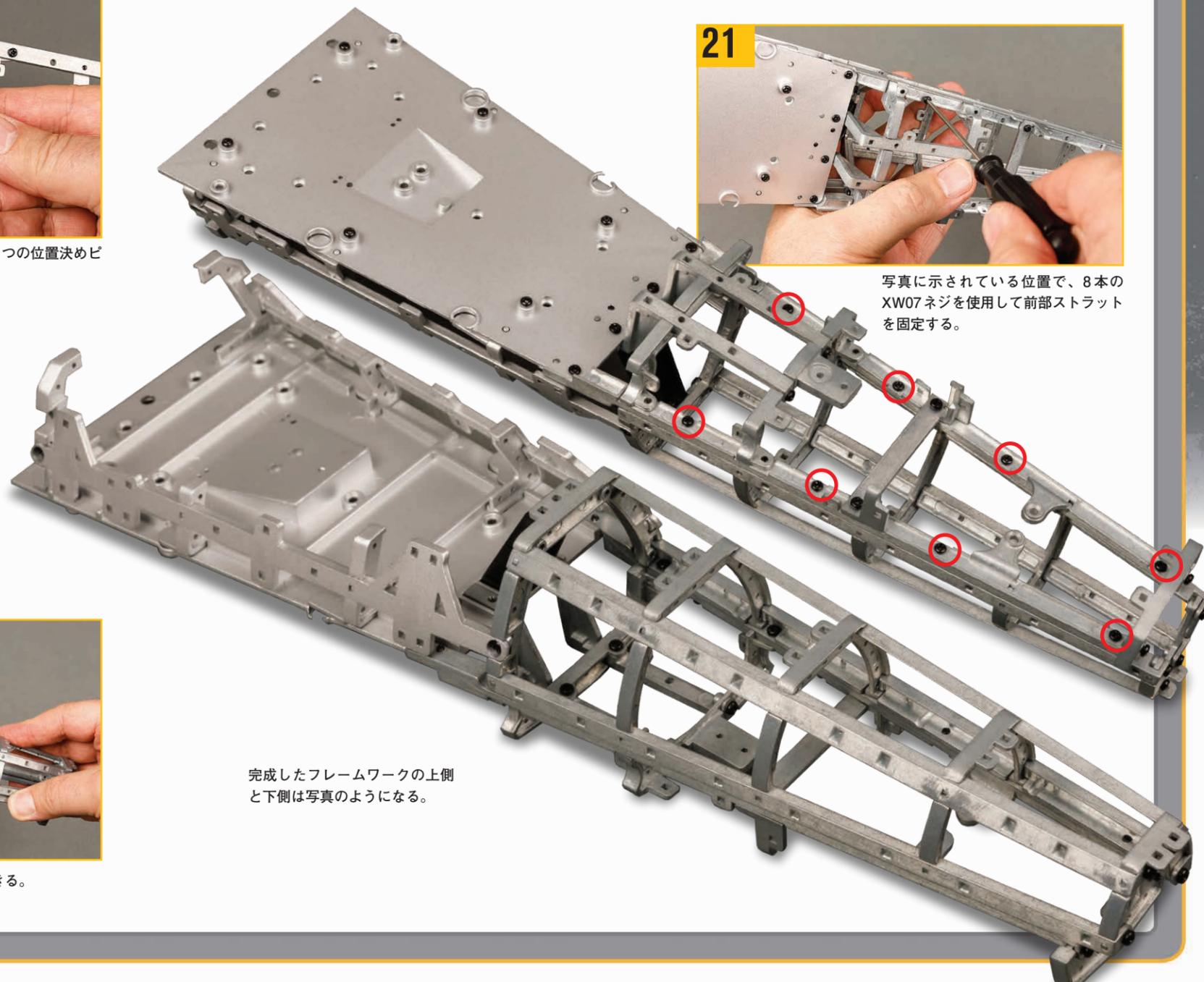
19 XW01ネジを使用して、前方コンソールサポートの上部をコックピットフレームに固定する。



20 XW01ネジを使用して、コックピットのサイドフレームをコックピットフレームに固定する。1つは写真の示す位置に、もう1つは反対側にある。



21 写真に示されている位置で、8本のXW07ネジを使用して前部ストラットを固定する。



完成したフレームワークの上側と下側は写真のようになる。